取り留めもない話3

草食系腐男子

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト
http://pdfnovels.net/

注意事項

このＰＤＦファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にＰＤＦ化させたものです。

この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのＰＤＦファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

取り留めもない話３

【Ｎコード】

Ｎ０２７９Ｑ

【作者名】

草食系腐男子

【あらすじ】

取り留めもない話です

帰りのホームルームが始まると同時に晴れ渡っていた空は夕立に襲われた
ホームルームが終わる頃には既に本降り
俺は置き傘を持つと友人に別れを告げクラスを出て昇降口に向かう
昇降口に行くと一人の少女が佇んでいた
制服から見るに一つ下の子
彼女は空を見上げると

「はぁ……」

と溜め息を漏らしうなだれた様子を見せた

「……使う？」

俺の突然の言葉に彼女は困惑した表情を見せる
それもそうだろう
なにせ俺と彼女には何ら接点はなく今この時初めて互いの存在を知った程度なのだから

「い、いえ、大丈夫です」

彼女は困惑しながらもそう言うとまた俯いた

「いいから使いなよ、俺予備あるからさ

ないけどね
俺は半ば強引に彼女に傘を渡す

ちょうどその時後ろからクラスの友達が現れた

「傘忘れたから入れてって〜」

「あれ？さっき持ってなかったか？」

「持ってたら言わんて」

俺はそう言うと友達の傘に入り帰った

翌日、帰りのホームルームが終わり昇降口に向かうと彼女がそこにいた

今日の天気は雨ではない
しかし俺は傘をささずにはいられなかった

ＰＤＦ小説ネット発足にあたって

　ＰＤＦ小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は２００７年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にＰＤＦ形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのＰＤＦ小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能（たんのう）してください。

この小説の詳細については以下のＵＲＬをご覧ください。
http://ncode.syosetu.com/n0279q/

取り留めもない話3

2011年1月13日08時05分発行